

若年がん患者在宅支援について

課題 40才に満たない若年者ががんで介護が必要な状態になったとき

介護保険の適応から外れるため在宅支援が受けられない。

先行事例 鹿児島県などは、県や市町村で若年がん患者の在宅支援を行っている

患者会の各市町村への働きかけ

41市町村議会へ支援を求めて陳情書の提出をおこなった。

結果

	採択	取り組み開始	資料配布	継続審議	無回答
	1. 宮古島市	未	1.今帰仁村	1. 南城市	28市町村
	2. 嘉手納町	未	2. 西原町		
	3. 浦添市	未	3. 本部町		
	4. 豊見城市	未	4. 読谷村		
	5. 糸満市	未	5. 大宜味村		
	6. 中城村	未	6. 沖縄市		

7. 南城市

8. 沖縄県議会

2020 4/22 議会で採択されたが実際にはどの市町村も動いてないことがわかった。

6/30づけで南城市から採択の知らせが届いた

沖縄県議会からも5/8付かで採択が届いた。県の採択で市町村の動きが良くなると期待する。

新型コロナで離島の患者が困っていること

1. 本島の病院にセカンドオピニオンを受けに行く症例

先生の説明を聞くのに家族の付き添いが必要 家族を危険な目に合わせるし

帰ってきてから子供が2週間仕事に行けなくなるのが心配

また、12月に肺の手術をしたばかりなので、コロナの騒がれている本島に行き来するのは心配

2. 琉大病院で化学療法を行っている症例

・コロナ騒動で本島に渡れないため宮古病院で化学療法をおこなっている。」

・5月の連休明けにPET検査予定。結果説明は翌日となっている。

入院をお願いしたが難しいと言われた。ホテルは休業が多いうえに安心して泊まれない。

宿泊をお願いできる身内がない。板としてもこのご時世なので安心してお願いできない。

日帰りで2日いききするの、体力的にも経済的にも厳しい。

1日で検査から結果説明まで行うか、結果は宮古病院で聞けるようにするとか

工夫できないだろうか？

泌尿器ガンで放射線療法予定の方

コロナ騒動の為、放射線治療に行く日程が延期になった。

いつ治療に行くのかめどが立っていない。

ターミナルケアの方

・ターミナルで死期が迫っている。こんな時期なので本土や本島にいる兄弟に会いに来てとも

言えない。がんの患者だけでなくほかの病気でターミナルの方もいる。

高齢でいつ何があってもおかしくない方もいる。面会制限できないならビデオ通話などが

できるように環境を整える必要があるのではないか

・ターミナルで訪問看護や訪問診療を受けながらの在宅を希望している。

この場合本土や本島から家族・友人がお見舞いに来て新型コロナを持ち込む可能性がある。

医療者と接触してしまった場合医、医療者が動きが取れなくなってしまう可能性がある。

本土の病院で治療され経過観察中されている方 薬だけは電話診療でもらえているが

345月と病院受診できてないのでフォローの診察や検査が受けられない、